

# GNSピンネット工法

## 環境対応型

〈ECO〉

「剥離・落下防止」

+

「環境保全・長寿命」

＝

W効果

信頼と技術の外壁落下防止工法



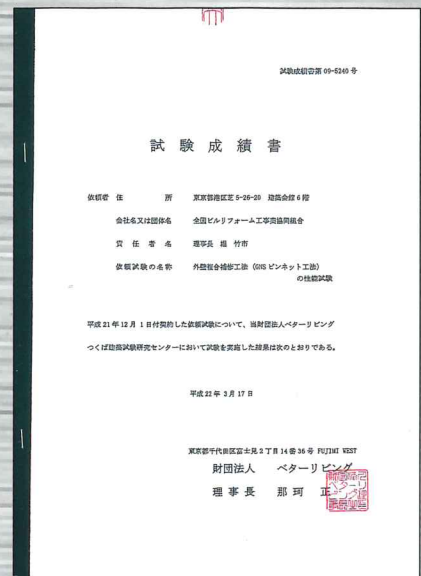
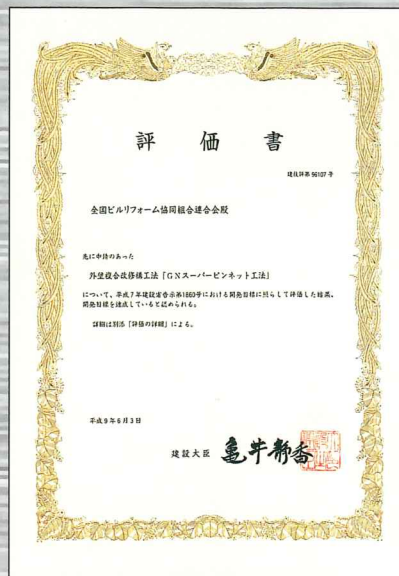
# GNSピンネット工法

外壁タイル仕上げ、モルタル仕上げの落下防止工法として平成2年から約30年の実績があり、保全技術・技術審査証明書と建設技術評価証明書を取得し、独立行政法人都市再生機構の外壁複合改修工法品質判定基準に合格している外壁落下防止工法として施工性・機能性に優れた工法です。

また、環境に配慮した1材化「GNSフィラーP」を発売開始。

従来に比べて混和液のプラスチックボトルを無くす事により、発生材が少なくなり現場での作業効率も良くなりました。

- 混和液のプラスチックボトルを無くす事により発生材が少なくなる。
- GNSフィラーを1材化する事により品質が安定する。



建設技術審査証明書 (BJC-審査証明-43)

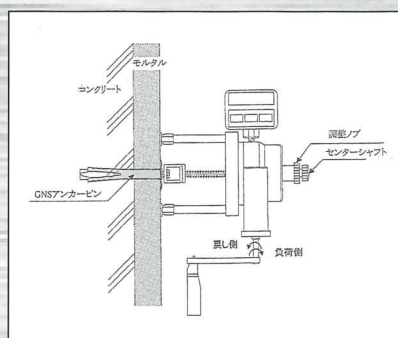
建設技術評価証明書 (第96107号)

UR都市機構試験成績書

## GNSピンネットはライセンス取得者による施工管理を行なっています



管理資格証



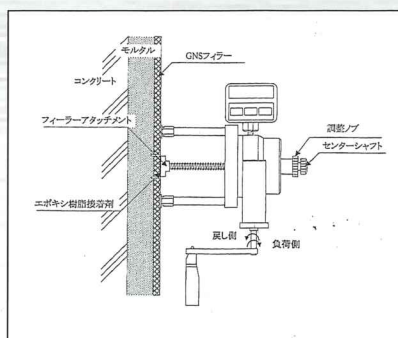
GNSアンカーピンの引張試験



確認基準強度1.500N以上であることを確認する



講習会風景



GNSフィラーP付着力試験



確認基準強度0.4N/mm<sup>2</sup>以上であることを確認する



## GNSピンネット 施工後20年経過物件実態調査

全国ビルリフォーム工事業協同組合技術委員会では、施工後の実態調査を定期的を実施しております。  
日本建築仕上学会学術講演会にて施工後20年経過した物件の調査結果を発表しました。



試験状況



GNSアンカーピン引張試験



GNSネット抜き取り



GNSフィラー付着力試験



現場全景(千葉県某物件)

- ★GNSフィラーの付着強度は20箇所の平均で1.76N/mm<sup>2</sup>で確認基準強度の4倍以上でした。
- ★GNSアンカーピンは検査した20箇所全てにおいて抜けが無く引張り強度は1500N/本以上でした。
- ★GNSネットの破断強度は20本の平均が105Nで未使用品と比べて同等でした。

## GNSピンネット工法の特長

★建築基準法第12条が平成20年4月に改訂され、建物の定期調査報告制度が義務化されました。  
(10年以上経過した建築物は、外壁を全面打診調査をする事になっております)

■壁が落ちない

■騒音が少ない

■実績が多い

■廃材が少ない

■ひび割れの抑制

■建物の寿命が延びる

■10年間保証

(最長15年保証)



GNSピンネットなら壁面全体を覆うため安心です。





## GNSピンネット工法



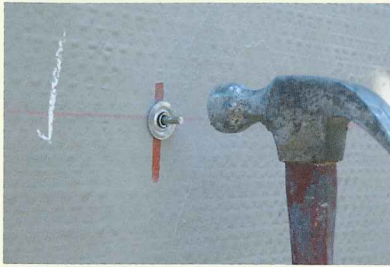
1.GNSプライマー塗布



2.GNSフィラーP下塗り+GNSネット埋込み



3.GNSアンカーピン穿孔作業



4.GNSアンカーピン打込み作業



5.GNSフィラーP上塗り



6.新規仕上材の施工

## 使用材料



GNSプライマー



GNSフィラーP(1材化品)



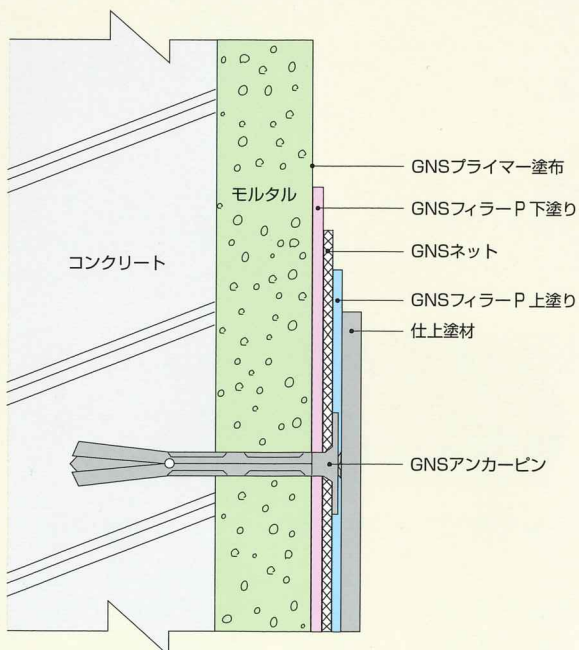
GNSネット



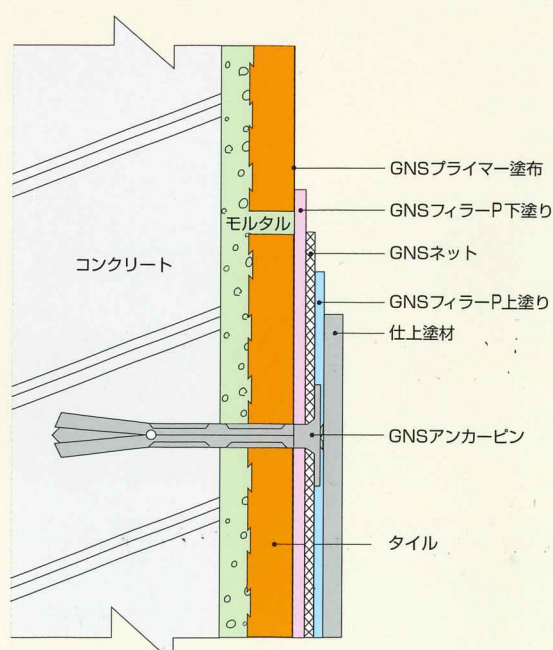
GNSアンカーピン

## 施工断面図

### ■モルタル下地の改修例



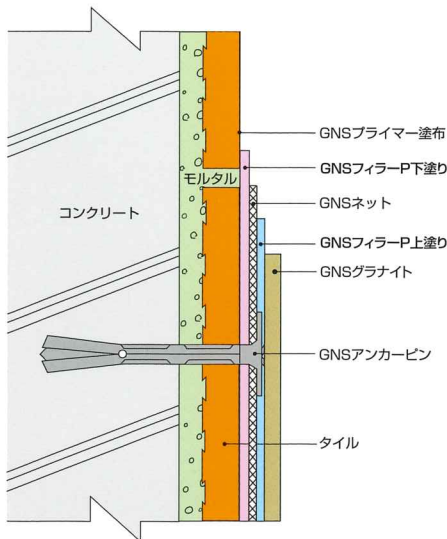
### ■タイル下地の改修例





## GNSグラナイト工法

GNSグラナイト工法は、外壁タイル・モルタル等の落下防止を行なった後に、仕上を石調コテ塗りで施工することにより意匠性と耐久性の向上ができ、建物の長寿命化が行なえます。

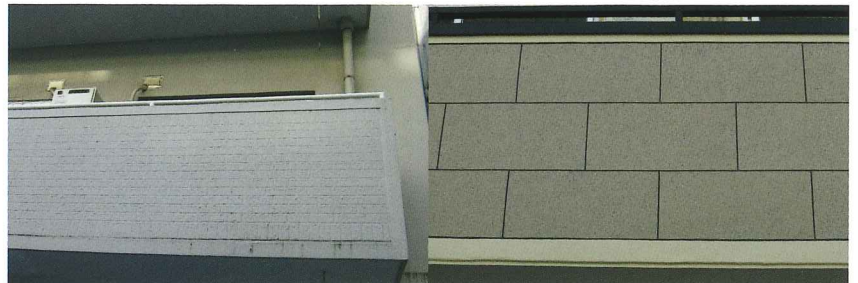


施工断面図



Before

After



### 施工手順(工程)



① 施工前



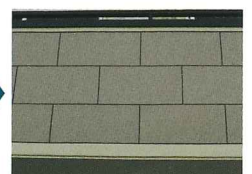
② 目地色プライマー塗布



③ 目地棒張付



④ 主材コテ塗り



⑤ 仕上り

### GNSグラナイト工法(仕上見本色)



GR001



GR002



GR003



GR004



GR005



GR006



GR007



GR008



GR009



GR010



GR011



GR012



GR013



GR014



GR015



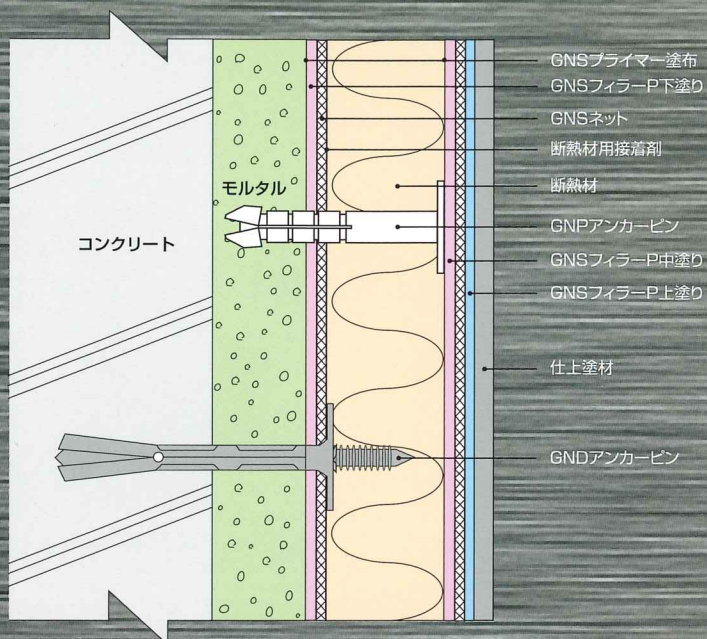
GR016



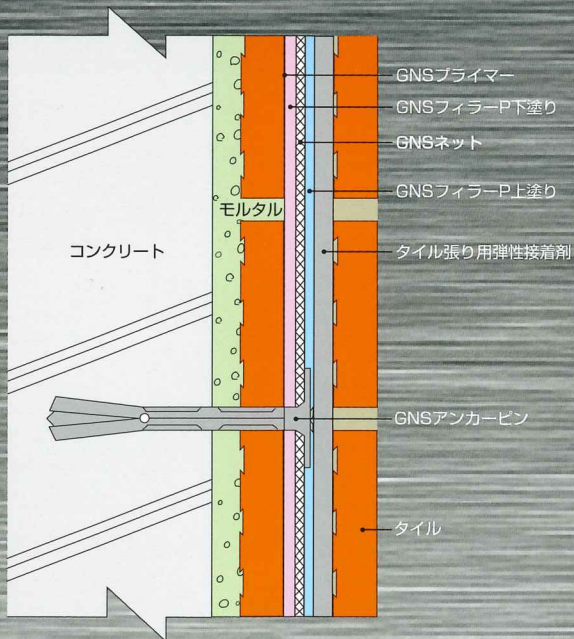


## その他のオリジナル工法

### ■外断熱GNSピンネット工法



### ■タイル張り用GNSピンネット工法



全国ビルリフォーム工事業協同組合

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 6F

TEL.03-3454-4371 FAX.03-3454-4377

E-mail:otoiawase-jbr@jbr-gns.com

URL:http://www.jbr-gns.com